



## 福津市男女共同参画都市宣言記念講演会

綸りん会長 山田宏子

元裁判官の弁護士春田久美子さん（福岡中学校出身）を講師に迎え、9月23日市役所別館にて「弁護士はミタ！それぞれの男女の幸せのカタチ」～あなたがあなたらしく生きるために～をテーマに講演が行われました。

弁護士バッジの模型を使い、外側には「ひまわりの花」太陽に向かって力強く咲くことから『正義と自由』を表し、中央には「天秤」重さが同じであることを見る道具であることから『公平と平等』を表し、バッジに込められている意味を紹介されました。



これまでの職歴の中、教育現場で出前授業を行い、子ども達に「法」について考えてもらう法教育の取り組みなど、あらゆる問題を解決するのに「法的なものの方」が必要という話の紹介もされ、裁判になった幾つかの身近なケース等、相談や実際の裁判問題で私達があまり知らないことが無い事案で、あまりの違和感や理不尽さを感じ驚かされました。

また、子育ての経験等をもとに法律家としての視点から、女性が活躍していくためにはどのような意識を持ち行動をしていけばよいのかを話していただきました。

法律や憲法について、基本的な知識を知ること、は、私たちの日々の暮らしの中でとても大事なことでたと改めて感じました。

## 「パパラズミー」三牧誠さんと意見交換 (11月20日)



パパラズミーとはどんな会？あまり聞かれない会だなどと思いながらの参加でした。

代表の三牧さんは、映像を通して会の活動を紹介されました。発達障害を持つ親子の日常生活の様子が生き生きと映し出される事に驚きを感じました。

SDGs 持続可能な開発目標の誰も取り残さないという基本理念に基づいて、障害者が普通に生活していく場づくり・人と人が互いに交流し合える場、そしてみんなで人のぬくもりの中、つながりを創っていききたいという彼の思いが、ひしひしと伝わってきました。

久しぶりに“次世代に何を伝えていくのか？人として生活できる場づくり、私に何ができるか？”考えさせられるひと時でした。

(記：秦)

## あすばる男女共同参画フォーラム 2021 『すべての人が輝く令和の社会へ～ もっと前に もっと強く もっと優しく～』

(11月27日)

zoom 配信された基調講演をオンラインで視聴した。講師は内閣府男女共同参画局林伴子局長、綸りんからは会員5名が参加した。

「日本の男女共同参画の現状」「第5次男女共同参画基本計画」「新型コロナウイルス感染症拡大による女性への影響」「女性活躍・男女共同参画の重点方針 2021 と骨太の方針 2021」についての説明があり、ジェンダー不平等を生む悪循環の解消に向けての課題や今後の取り組みが示された。

歯切れのよい語り口の中に、周回遅れの日本のジェンダー平等への取り組みをスピード感を持って進めたいという強い決意がうかがわれ、「もう我慢をしない、きちんと言おう、黙認をしない」とのメッセージが込められているのを感じる。また、フォーラムのテーマに「もっと優しく」との言葉が添えられたその意味を考え、応えていきたいと思う。(記：久保)



## 《今わたしたちに出来ること》

福津市商工会女性部長

片岡 礼子

私達は、現在 80 名の部員で、地域振興活動や研修会、その他ボランティア活動に幅広く活動しています。先日「男女がともに歩むまちづくり推進モデル」として福津市商工会女性部が推奨され、表彰状を頂きました。

事業を行っている私達ですが、夫婦・家庭間で協力し合い、家庭や地域活動にも可能な限り積極的に参画することを目指しております。



# リレーコラム



女性部としてもコロナ禍でなかなか活動ができない日が続いておりますが、何かできる事はないかと考え、去年は除菌グッズとマスクの詰め合わせを部員の事業所へ設置、福津の極み商品券購入の方へ配布しました。また、市内の小学校へ清掃用のタオルを寄付する活動も行っています。

感染拡大対策に配慮しつつ、今後もっと広く地域に目を向けた活動ができればと思っています。

この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が取り戻せるよう心から願っております。



## 新任職員からひと言

占部 俊斉

令和2年4月、会計課から男女共同参画推進室に異動してきました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、会員のみなさまと直接、お会いできる機会が減ったように感じます。

現在、会員の方をはじめ、いろいろな方とお会いし、お話をするなかで、少しずつ「男女共同参画」とは何かを学ばせていただいています。

市が掲げている将来像「みんながつくる、希望あふれるまち・ふくつ」を目指していきたいと考えています。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 郷育カレッジ公開講座・クロスロードゲーム (12月16日)

綯りんメンバーが講師となって、ワークショップを行いました。これは、ゲーム形式で災害時の岐路（クロスロード）での決断シュミレーションを再現するものです。参加者の感想をご紹介します。

「以前からとても面白いと聞いていたのですが、予想以上に楽しい体験でした。自分の内面を見直しつつ、他者の考え方を聞くことで新たな気づきがあり、様々な場面で活用できるゲームだと思いました。

更に多くの人たちに体験してもらうためには、講座のタイトルを『危機に対応する考え方』『防犯防災の場であなただはどうする!?』などと、具体的にされたいと思いました。

年齢、性別、国籍や立場などを越えて体験できるこのゲームは様々な可能性を持っていると思います。これを広めるためにいろいろな工夫があるといかなと感じました。」

(郷育カレッジ実行委員木本さんの感想より)

(報告：福田)



会員  
募集中!



## 「綯りん」会員 (13 団体 12 個人)

- ・ 藍の家保存会・あんずの里市利用組合
- ・ 日本語教室「わかば」
- ・ 福間食事サービスころっけ
- ・ 福津市「つばさの会」・福津市地域婦人会
- ・ 新日本婦人の会福津支部
- ・ 福津市商工会女性部
- ・ 福間ゆーあいの会
- ・ ともあゆサポーターの会
- ・ 男声合唱団メンネルコール福津
- ・ ふくつながり実行委員会
- ・ 福津市子育てネットワーク「ぷくぷく」
- ・ 石田信子・石田まなみ・榎本博・久保カヨ子・鈴木亜希子・戸田進一・田中純子・中村晶代・中村清隆・永島誠也・秦真智子・花野天地子